

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	22072
事業名	丘珠空港関連調整費					
評価担当課	所属名	政)総合交通計 空港担当課				
	課長名	小澤 宏亘	担当者名	武岡 君弥	電話番号	011-211-2378
施策名	主	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	丘珠空港の利用者数の増加を図ります。(年間利用者数 H30:266千人 ⇒ R4:290千人)			
		長期	道内外からのアクセス性を高め、ヒトやモノなどの流れを加速させるため、広域的な連携による航空路線の拡充促進や関係団体との協働によるプロモーションなどを通じて、丘珠空港の利用促進を図ります。			
	取組内容	○丘珠空港の利用促進を行い、新たな路線の就航を目指します。 ○丘珠空港ビル2階「札幌いま・むかし探検ひろば」の管理運営を行います。 ○丘珠空港の将来像等について、市民、空港関係機関、経済団体等と議論を深め、その実現について必要資料を作成し国と協議します。 ○丘珠空港での航空機騒音調査・飛行経路調査を行います。 ○このほか、出資団体との調整など空港や港湾に関する事務を行います。				
実施結果	<p>丘珠空港の利活用検討 滑走路延伸を含む空港の機能強化が概ね10年後に実現することを目指し、丘珠空港の進むべき方向性となる「丘珠空港の将来像」を策定するため、国や北海道等の関係者と協議を行った。</p> <p>丘珠空港の利用促進 丘珠空港及び丘珠空港路線の認知度向上のため、ポスターやチラシの掲示・配架、啓発品の配布、雑誌への掲載等、関係機関と連携して丘珠空港の利用促進に取り組んだ。</p>					
事業実施における工夫点	丘珠空港の利用促進について、丘珠空港の認知度向上や新たな路線の就航を目指し、市内外の広い範囲の機関と連携を行いました。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	航空法、空港法					
他都市の状況	全国の空港所在自治体でも、航空会社や空港ビル会社等と連携してPR活動や助成事業の実施等により、空港の利用促進を図っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	45,004	125,832	72,286	118,832	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	4.7	5.5	5.0	5.0	
人件費	33,840	39,600	36,000	36,000	
計(事業費+人件費)	78,844	165,432	108,286	154,832	
事業費の内訳	令和3年度決算	丘珠空港の利活用検討 6,590千円 丘珠空港の利用促進 4,623千円 空港連絡バス運行補助 12,000千円 その他事務費(騒音調査含む) 12,970千円 「札幌いま・むかし探検ひろば」の管理運営 36,103千円			
	令和4年度予算	丘珠空港の利活用検討 45,430千円 丘珠空港の利用促進 7,570千円 空港連絡バス運行補助 12,000千円 その他事務費(騒音調査含む) 13,663千円 「札幌いま・むかし探検ひろば」の管理運営 40,169千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	丘珠空港路線の利用者数(千人)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	163	284	196	290	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ここ2年ほど我が国の国内線の航空需要は大きく落ち込んだものの、底堅い需要のある丘珠空港においては、他空港と比較すると落ち込みが少ない(参考:新千歳空港と比較し、25%程度落ち込みを抑えられている)ところであり、利用者数は目標値を下回ったものの事業の成果が出ているものとする。また、丘珠空港の利活用検討も、将来像(案)に関する空港周辺地域住民との意見交換等を行えなかったが、国や航空会社等との協議・調整を進め、将来像策定に向けて必要な準備を行うことができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新型コロナウイルスの影響により札幌いま・むかし探検ひろばを活用したイベントや、その他のPRイベントを行うことができなかったものの、地下鉄駅構内でのポスターの掲示や雑誌への記事掲出など、コロナ禍における利用促進に取組、丘珠空港のPRを一定程度進めることができたため、実施規模は適切であった。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	B	丘珠空港及び丘珠空港路線の認知度向上のため、購読者層が丘珠空港の利用者層と近い雑誌への記事の掲出や、航空会社や空港ビル会社との連携により丘珠空港で初となる遊覧飛行の実施などにより、利用促進に努めた。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	B	道内の移動においては市民にも多く利用されているが、道外への路線においては市民の利用が少ないことから、丘珠空港路線をより広く知ってもらうことや更なる新規路線の誘致等に取り組む、市民のニーズにこたえていく必要があると考える。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	新型コロナウイルスの影響により、ここ2年ほど我が国の国内線の航空需要は大きく落ち込んだものの、徐々に回復してきていることから、更なる利用促進を図り、新規需要の創出に取り組んでいく。また、利活用検討においては、将来像の策定及び実現に向け、関係機関との調整を行っていく。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	チャーター便を利用した旅行商品への助成を開始することにより、新規路線就航に向けた取組を開始した。また、航空会社や空港ビルと連携した組織を構成し、更なる利用促進に取り組んでいる。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	ここ数年の我が国の国内線の航空需要は大きく落ち込んだものの、丘珠空港は国内他空港と比べると落ち込みが少なく、これまでの利用促進の取組の成果と評価することができるが、新規路線の誘致や利用者数の更なる増加に向けた取組の余地があることから、Bと評価する。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 更なる利用者数を増加を図るため、丘珠空港の利用促進を行い、新規路線の就航を目指す。また、丘珠空港の将来像について国へ要望を行い、空港周辺地域住民との意見交換や、空港関係機関、経済団体等との協議を行っていく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 丘珠空港の更なる利用促進のため、事業規模を拡大し、新規路線の就航や利用者数の増加を目指す。		見直し効果額	14,160 千円